

# 奈良県感染症情報

平成 26 年 第 12 週( 3 月 17 日～ 3 月 23 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## 今週の概要

■ 小児科外来情報

！！ インフルエンザ注意報発令中 !!

## ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	14.54	(17.65)	➡	⬇	➡	➡
2	感染性胃腸炎	2.79	(3.50)	⬇	⬇	➡	➡
3	水痘	1.06	(1.09)	↗	↗	➡	↑↑
4	A群溶連菌咽頭炎	0.94	(0.74)	➡	↗	➡	↑↑
5	咽頭結膜熱	0.41	(0.56)	➡	⬇	↗	➡

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➡横ばい**、**⬇やや減少**、**↓減少**

## ◆ 県内概況 ◆

### ◆ インフルエンザ! まだまだ注意が必要

先週よりは減少していますが、それでも例年より高いレベルで推移しています。人混みではマスクを着用し、帰宅後の手洗い・うがいを心がけましょう。

### ◆ 春はロタウイルスの季節です

春先からはロタウイルスによる胃腸炎(嘔吐下痢症)が流行します。便が白くなるロタウイルスは、ノロウイルスと同様に感染力が強く、特に乳幼児で流行し、入院加療を要することがあります。

ロタウイルスは、ノロウイルスと異なり、ワクチンにより免疫を獲得することができ、重症化を防いだり発症を抑えることができます。

感染を広げないようにするには、オムツの適切な処理、手洗いの徹底などが必要です。オムツを交換するときには使い捨てのゴム手袋などを使い、捨てる場合はポリ袋などに入れます。手洗いは指輪や時計をはずし、せっけんで30秒以上もみ洗います。衣類が便や吐物で汚れたときは、次亜塩素酸ナトリウム(家庭用塩素系漂白剤)でつけおき消毒した後、他の衣類と分けて洗濯しましょう。ロタウイルスにはアルコールなどの消毒薬ではあまり効き目がありません。

《ロタウイルスに関するQ&amp;A》

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/index.html>

## ❖ 小児科外来情報 ❖

### 北部地区(矢追医院)

インフルエンザは減少してきました。ほぼB型で症状は軽めです。春休みに入りますから今後さらに減少が見込まれます。例年通り、喘鳴と弛張熱のRSウイルス気管支炎の幼児が保育園で増えてきました。昨年秋の流行で感染した子の2度目の感染例をよくみかけます。症状が軽くなったかはあまり判りません。溶連菌咽頭炎の流行も続いています。保護者も同時に感染している例もあります。

### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は横ばい、インフルエンザの減少の割にはそう減少していない。

インフルエンザはA型が殆どなくなり、B型が主流。症状は軽症で保護者もインフルエンザと思っていない例も多い。乳児でRS気管支炎が増加、高熱や喘鳴の強い例もある。

A群溶連菌感染症が流行、水痘、流行性耳下腺炎も小流行。

感染性胃腸炎は嘔吐が主のノロ様の例が多いが検査実施での陽性例はなかった。

### 南部地区(県立五條病院小児科)

インフルエンザAは減少。逆にB型が増加している。高熱は1~2日と持続は長くないが、一度解熱してから再び熱が出る児もあり、治癒するまで注意が必要である。

胃腸炎も増加、ロタウイルス陽性例もみられた。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 12 週 3 月 17 日 ~ 23 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	3	3	
インフルエンザ	785 (14.54)	171 (15.55)	194 (12.13)	113 (10.27)	240 (21.82)	22 (11.00)	45 (15.00)	
小児科定点数	35	7	10	7	7	2	2	
RSウイルス感染症	12 (0.35)	4 (0.57)	5 (0.50)				3 (1.50)	
咽頭結膜熱	14 (0.41)			3 (0.43)	11 (1.57)			
A群溶連菌咽頭炎	32 (0.94)	8 (1.14)	15 (1.50)	1 (0.14)	5 (0.71)	1 (1.00)	2 (1.00)	
感染性胃腸炎	95 (2.79)	23 (3.29)	16 (1.60)	13 (1.86)	35 (5.00)	4 (4.00)	4 (2.00)	
水痘	36 (1.06)	14 (2.00)	10 (1.00)	6 (0.86)	2 (0.29)		4 (2.00)	
手足口病								
伝染性紅斑	4 (0.12)	3 (0.43)		1 (0.14)				
突発性発しん	5 (0.15)			2 (0.29)	2 (0.29)		1 (0.50)	
百日咳								
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	1 (0.03)	1 (0.14)						
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎	2 (0.22)			1 (0.5)	1 (0.5)		-	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎							-	
無菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)				-	
マイコプラズマ肺炎							-	
クラミジア肺炎							-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2 (0.33)		1 (0.50)				1 (1.00)	-

❖ 全数把握感染症届出状況 ❖ ( )は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核 4件(郡山2件、葛城1件、内吉野1件)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	梅毒1件(桜井1件)

❖ 第 12 週のトピックス ❖

増加しつつある梅毒(IASR)

—感染症発生動向調査からみた梅毒の動向—

<http://www.nih.go.jp/niid/ia/2014-02-19-09-27-24/1029-disease-based/ha/syphilis/idsc/iasr-in/4497-pr4095.html>

インフルエンザA(H1N1)pdm09 による生来健康小児の急性インフルエンザ脳症死亡例の報告—長野県(IASR)

<http://www.nih.go.jp/niid/ia/flu-m/flutoppage/861-idsc/iasr-in/4493-pr4092.html>

上段 : 報告数  
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男	2	2	11	16	14	18	22	29	18	31	40	77	30	14	15	25	13	8	4	10	399	5164
	女		4	9	7	20	21	21	26	23	28	16	67	18	14	27	36	16	11	7	15	386	5215
RSウイルス感染症	男	2		1	3		1															7	108
	女		1	3			1															5	95
咽頭結膜熱	男				1		1	2	1				1									6	64
	女			2		1	2		2						1							8	62
A群溶連菌咽頭炎	男				1	1	3	2	1	3		2	2									15	164
	女				3	2	4		4	1	1		1		1							17	154
感染性胃腸炎	男	1		7	6	4	3	4	3	4	1	2	8	1	7							51	1028
	女	1		5	6	3	2	3	1	2		2	5	3	11							44	957
水痘	男			1	1	1	2	7	6	1		1	1									21	170
	女		1	2	1	4		4		1	2											15	155
手足口病	男																						2
	女																						4
伝染性紅斑	男							1														2	5
	女				1		1															2	7
突発性発しん	男	1		2																		3	48
	女		1	1																		2	27
百日咳	男																						
	女																						
ヘルパンギーナ	男																						
	女																						3
流行性耳下腺炎	男																						1
	女				1																		16
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						20
流行性角結膜炎	男															1							1
	女																		1				20
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
無菌性髄膜炎	男			1																			1
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男																						1
	女																						1
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						2
	女		2																				9

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〻 過去10年平均

